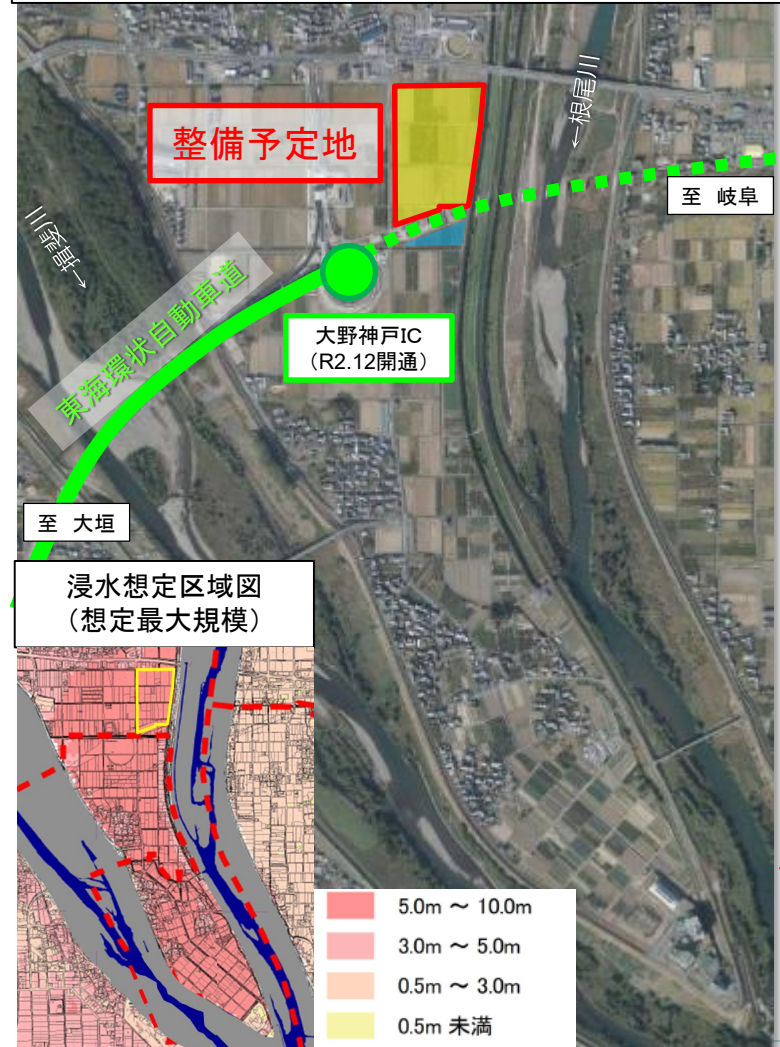


# 代表自治体からの流域治水対策の事例紹介

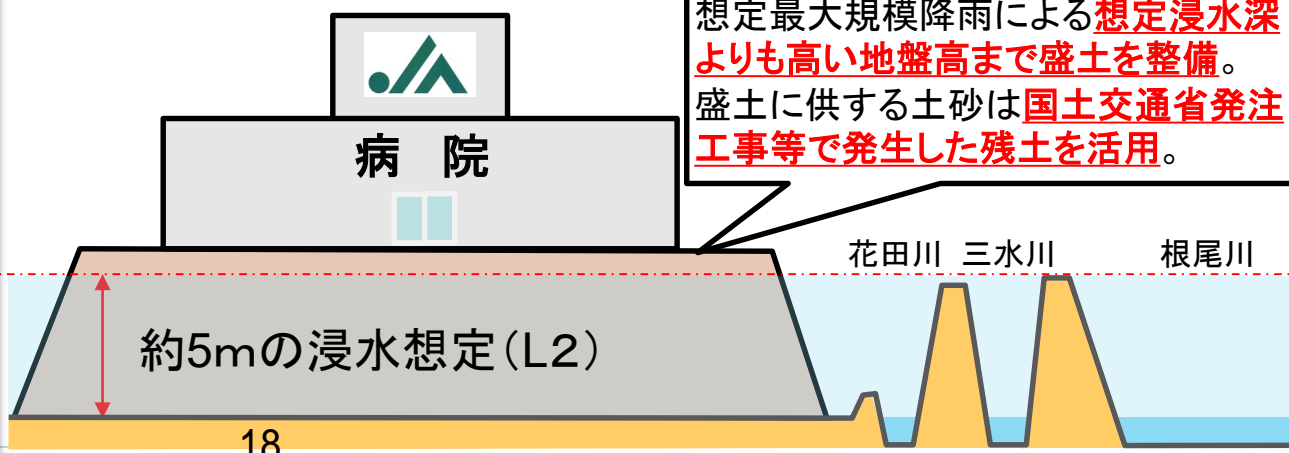
# 事例紹介資料(JA岐阜厚生連)

# 【JA岐阜厚生連】浸水想定区域内での病院整備 … (仮称) 西濃厚生病院整備事業

- 大野神戸IC(令和元年12月開通)東側にJA岐阜厚生連が総合病院を建設中
- 災害拠点病院への指定を予定、災害時の重要拠点としての役割
- 想定浸水深は約5mだが、『**想定最大規模降雨による想定浸水深よりも高く造成**』することで抜本的に安全性を確保



## 【整備イメージ】

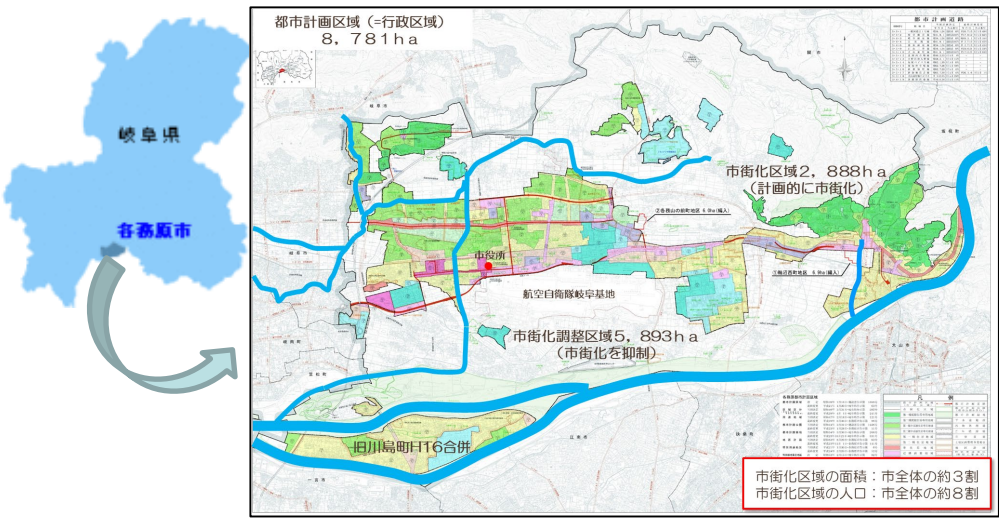


# 事例紹介資料(各務原市)

# 【各務原市】立地適正化計画策定の取り組みについて

- 「立地適正化計画策定委員会」へアドバイザーとして河川管理者の参加
- 洪水浸水想定区域 L1 (浸水深さ1.0m以上) 除外

- ◆ 学識経験者、交通、商工、福祉、地域等の代表者で構成する「立地適正化計画策定委員会」設立
- ◆ アドバイザーとして河川管理者(国・県)も委員会へ参加



**都市構造特性(地形)**

- 中央部は各務原台地(市役所、鉄道駅等が立地)
- 台地周辺は一級河川
- 北部は美濃山地で急峻な地形

**災害要因へ**

**居住誘導区域の設定において配慮が必要**

**居住誘導区域設定基準(プラス視点)**

基準①: 基幹的公共交通の徒歩圏(駅半径800m、バス停半径300m)  
 基準②: 住居系地区計画が定められた区域(MPIに基づく4地区)  
 基準③: 小学校の日常生活圏(半径500m)

**災害危険性の高い区域の除外検討(マイナス視点)**

- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
- 洪水浸水想定区域L1(浸水深さ1.0m以上)

**【課題】**  
 すでに市街地が形成されている地域にも災害危険性(洪水浸水想定区域L2の指定)が...

**『防災指針』の策定へ**

- ◆ 災害リスク分析  
(洪水浸水想定区域L2と居住誘導区域の重複する区域について)
- ◆ 防災まちづくりの将来像、取組方針の検討
- ◆ **具体的な取組、スケジュール、目標値の検討**

**【国・県への依頼事項】**

- ★ 国・県事業の情報提供
- ★ **具体的な取組、スケジュール、目標値の整合**

# 事例紹介資料(桑名市)

# 流域治水に関連した桑名市の取り組みについて

## <災害に強いまちづくりを推進>

- ・ 桑名市総合計画総合計画のビジョンである「命を守ることが最優先」や地域防災計画にかかげている「災害に強いまちづくり」を推進するため、木曽川水系流域治水プロジェクトにおける取り組みとして、「消防本部の高台移転」や「小学校の高台移転」などを実施。
- ・ あわせて、「立地適正化計画に基づく防災指針の検討」も進め、引き続き、災害に強いまちづくりに向けた取り組みを推進する。

## 【消防本部の高台移転(消防庁舎等再編整備)、津波避難施設整備】

南海トラフ地震における津波被害想定及び高潮時の浸水想定を踏まえ、災害拠点となる消防本部の高台移転を含めた消防庁舎等再編整備を行い、より強固な防災体制を確立する。  
 地理的に津波からの避難が極めて困難となることが想定される地区に、一時的な避難場所となる津波避難施設を整備する。

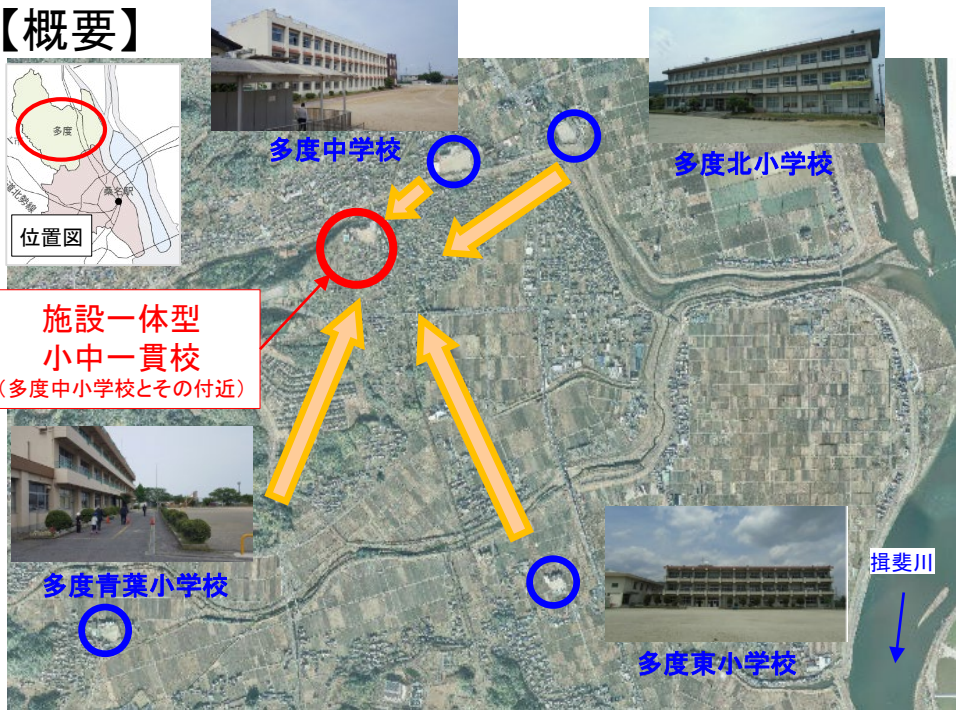


**【目的】**  
 ・より強固な防災体制の確立  
 ・市民サービスの向上  
 ・対象施設の機能の向上

**<消防庁舎等再編の対象>**  
 消防本部・大山田分署・消防団詰所・大山田地区市民センター・大山田まちづくり拠点施設 等

## 【小学校の高台移転(多度地区小中一貫校整備)】

多度地区にある全ての小・中学校について、新設する「施設一体型小中一貫校」への統合に伴い、洪水による浸水区域等から丘陵地域へ移し、防災面でも安全な教育体制を確立するとともに災害時の避難施設としても活用する。



**<対象施設>**  
 多度北小学校、多度中小学校、多度東小学校、多度青葉小学校、多度中学校

# 事例紹介資料(岐阜市)



# 流域治水に関連した岐阜市の取り組みについて

- ・岐阜市内では、平成30年7月豪雨において約14年ぶりの大規模出水を経験。全国各地において毎年のように記録的な豪雨が発生
- ・岐阜市では、これまでも「境川流域総合治水対策」、「防災教育の推進」、「水防訓練の実施」など、流域治水に関連する取組を実施
- ・地球温暖化による気候変動の影響により、豪雨災害が激甚化、頻発化するなか、流域の一員として、引き続き流域治水の取組を推進する

## 平成30年7月豪雨

平成30年7月豪雨では岐阜市内を流れる長良川の水位が上がり、戦後最大規模の洪水であった平成16年10月洪水以来、約14年振りの大規模出水となった。



最高水位直後の鵜飼屋地区

## 岐阜市水防団による水防活動



月の輪工の実施



14年振りとなる大宮陸閘閉鎖

## 岐阜市における流域治水対策例

### 境川流域総合治水対策

境川流域において、岐阜県や関係自治体とともに、「境川流域総合治水対策」に取り組み、小中学校の校庭等を活用し、雨水の流出抑制を図る雨水貯留施設の整備等を推進。



＜校庭の地表面に貯留＞

### 防災教育の推進

全市小中学校で年1回以上の防災教育(H27～)を行い、地域の方を交えた災害図上訓練(DIG)等を実施。またそれらの学習の成果をシンポジウムの場で児童・生徒自らが発表し、市民全体に対して防災知識の普及啓発を実施。



### 水防訓練の実施

1,699人が岐阜市内の水防団に所属し、災害時における河川巡視、警戒活動、水防工法実施のほか、水防技術の向上のため、例年5月に実施する岐阜市水防連合演習等、平常時から各種訓練を実施



# 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

## 【目標(コンセプト)】

全市小中学校で年1回以上の防災教育(H27～)を行い、地域の方を交えた災害図上訓練(DIG)等を実施。またそれらの学習の成果をシンポジウムの場で児童・生徒自らが発表し、市民全体に対して防災知識の普及啓発を実施。

## 【概要】



地域住民も交えて  
災害図上訓練(DIG)を実施



学習の成果を広く一般に開かれたシンポジウムで発表

伊勢湾台風から60年シンポジウム  
「未来へつなげる防災教育こどもサミット」



小中学校での防災教育を通じて、児童・生徒だけでなく、地域全体の防災力を向上を図る

対策メニュー

短期

中・長期

【岐阜市】  
防災教育の継続的な実施と内容の充実



## 【目標(コンセプト)】

1,699人が岐阜市内の水防団に所属し、災害時における河川巡視、警戒活動、水防工法実施のほか、平常時における各種訓練などの活動を実施。

## 【概要】



水防技術の向上のため、例年5月に実施する岐阜市水防連合演習等、平常時から各種訓練を実施



平成30年7月豪雨において、岐阜市水防団により大宮陸閘を閉鎖。閉鎖は平成16年以来14年ぶり。



平常時から訓練を行い水防技術の向上に努めることで、災害時のスムーズな水防活動を可能とする

対策メニュー

短期

中・長期

【岐阜市】  
水防団による水防訓練の実施等

